

57.11.30 外科実習表 (S. 31 年次入学生) —

実習時間	加算分	一回の人数	期	実習内容	カニマシ	実習課題	番号	合同講義
48 時間	4 点	9 人	5月22日	<p>総論 手術前後の管理 手術前の一般検査 術後の栄養問題 麻酔の一般看護 術中の一般看護 の合併症 (iv) 臨床に用いられる諸処置法 (化療療法を含む) (vi) 消毒法 (vii) レビデの観察法 (vi) 世の他</p>	<p>(i) 手術創傷の後の療法 (ii) 失血・輸血の療法 (iii) 吸入装置の療法 (iv) レビデの観察法 (v) 麻酔の見方 手術検査 2.30レビデの検査時の 患者の取扱 (vi) 外科と化療療法 (vii) 世の他</p>	<p>(i) 受け手患者について、心身両面・社会面・身体面から考察を加え、患者の必要を弁見し、一定に求めたい。 (ii) 別冊の臨床実習経路図</p>	11号 26号 (実習室と組む) 手術室	(1) 3:30 ~ 2:30 pm カニマシ 7:15 示談 (ii) 足野について (iii) 更年期障害 世の他 (毎週木曜日)
72 時間	6 点	4 人	10月30日 5月22日 (S.33期)	<p>各論 (i) 消化器と呼吸器(特に外科的器械の疾患と その看護)について。 (ii) 外科外未実習 手術室 (iii) 世の他</p>	<p>(i) 臨床講義 肺結核 胃癌 胃癌 胃腸炎 食道癌 胆管癌 癌患者と主体として (ii) 入院中の 研究発表 (iii) 手術室 (iv) 手術実映画 映写</p>	<p>(i) 症例研究 入院中の肺結核患者の感染経路・発病 病歴の経過・発見時状態・患者の自覚 等を調査し、発病前からの再検査 を加える。 (ii) 胃腸病・胃癌患者の初期症状 入院中の経過・検査結果 (iii) 比較検討する。 (iv) 高血圧患者の経過を比較し、経過の 良・不良の原因と予後を考察する (1名) 面から問題とする点を考察する (1名) 入院中の消化器系患者の看護 (1名) 世の他</p>	11号 26号 東二 上下室 手術室 外未 (2.3人 のグループ に分けて 実習)	
64 時間	6 点	6 人	9月29日 10月21日 (S.34期)	<p>(i) 外科的疾患を有する患者 の管理 (ii) 病室管理 (iii) 総合研究</p>			病室 家庭訪問 見学	

(実)